

6 大型魚礁効果調査

沖縄県の魚礁設置事業は琉球政府当時の1953年(昭和28年)県の水産業奨励補助金(50%)を市町村を通じて関係漁協に交付実施したのに始まる。その後、木枠、ドラム缶(石詰)、廃車、廃船、ブロック(1~1.2m²規格)の材質による、築礎的魚礁設置が毎年実施され、それ相当に県下沿岸漁業者への役割りを果たして来ている。本土復帰により昭和47年からは「沖縄県大型魚礁設置事業費補助金交付要綱」にもとずき国から70%の補助を受け、大型魚礁(1.5m²)の設置がなされ、沿岸漁業者の利用を図っている。水産試験場は大型魚礁設置のための適地調査と併せて設置後の効果調査を48年から実施しており、49年度もこれまで設置された4ヶ処の内3ヶ処の効果調査を釣獲試験により実施したのでその概要を報告する(魚礁に関しては別冊でまとめて報告予定)

1 調査概要

設置水深は55m~80mであるがどの場所でもフエフキダイ類の付きがみられ、その他フエダイ類、ハタ類が殆んどである。水深75mからマダラヒメダイがみられる。釣獲率は7%~26.8%で、他の天然礁にそんな色なくむしろ好漁場を形成している。

2 調査方法

試験船「くろしお」(21,44トンD100馬力)を使って底延縄2鉢(1鉢に釣針28本、釣針23号を使う)でイカを餌に使う。

3 調査期間

50年2月25日~3月3日(名護湾、伊江島地先) 50年3月12日~14日(嘉手納地先)

4 魚礁の魚付き状況

イ 名護湾(昭和46年度設置、1,235個)

a 魚礁位置 lot 26°-33'-48"N long 127°-56'-40"E

b 魚の付き具合

昼間1回操業で、ムロ3尾、カンモンハタ3、エソ1、アマミフエフキ1、小ヒラアジ1、赤海亀1、計9尾+1、釣獲率17.9%

ロ 伊江島地先(昭和48年度に設置 1,178個)

a 魚礁位置 lot 26°-40'-55"N long 127°-48'-34"E

b 魚の付き具合

夕方縄入れ朝揚げで1回操業、ハマフエフキ4尾、イトヒキフエダイ1、アマミフエフキ3、センニンフグ1、ナヌカザメ1、計9尾、釣獲率16.2%。

昼間片天秤釣りで(5人)ホオアカクチビ1、メイチダイ2、ヒメジ1、計4尾

ハ 嘉手納地先(昭和47年度に設置 1,591個)

a 魚礁位置 lot 26°-20'-48"N long 127°-42'-54"E

b 魚の付き具合

夕方縄入れ朝揚げ、2回操業でハマフエフキ9尾、アマミフエフキ6、カンモンハタ1、マハタ1、アカハナ1、タイワンダイ1、マダラヒメダイ2、タテジマフエダイ1、ゴマフエダイ2、マダラトビエイ1、ウツボ2、計30尾、釣獲率26.8%。

(2種)